

品質管理チェックシート

《木造》

まもりすまい保険設計施工基準に加え、次のAまたはBのタイプに適合する設計・施工をしていただくことで、『すまいネット住宅』設計施工基準に適合します。

※本申請書は「まもりすまい保険」申込設計図書に優先するものとして取扱います。

作成日	20 年 月 日	申請担当者 氏名	印
申請物件名			

※申請物件で採用されるタイプ・仕様の該当する□にチェックを入れ、ご提出願います。

申請物件の採用タイプ⇒【□：Aタイプ、□：Bタイプ】

Aタイプ：基礎高 400 mm＋外壁通気構法とするタイプ

基礎高さ	□GL＋400 mm以上
	□GL＋300 mm以上 (下記いずれかの土台廻りの耐久性向上に係る措置を講じていること)
	<input type="checkbox"/> 軒の出寸法を 600 mm以上とする。 <input type="checkbox"/> 基礎外周部に犬走り・排水溝・砂利敷き等を設ける。 <input type="checkbox"/> 湿式仕上げの外壁を通気構法とする。 <input type="checkbox"/> 土台に耐久性の高い樹種や防腐防蟻効果の高い処理を施したもの
外壁通気構法	□外壁通気構法
	□ALC パネル等で通気構法としない場合は、各製造所が指定する施工方法に基づいて取り付ける

Bタイプ：住宅性能評価基準の劣化対策等級2相当以上とするタイプ

基礎高さ	□GL＋400 mm以上
	□GL＋300 mm以上 (建築基準法における建物高さに制限がある場合で、下記いずれかの土台廻りの耐久性向上に係る措置を講じていること)
	<input type="checkbox"/> 軒の出寸法を 600 mm以上とする。 <input type="checkbox"/> 基礎外周部に犬走り・排水溝・砂利敷き等を設ける。 <input type="checkbox"/> 湿式仕上げの外壁を通気構法とする。 <input type="checkbox"/> 土台に耐久性の高い樹種・防腐防蟻効果の高い処理を施したもの

外壁の軸組等の防蟻・防蟻 (右記のいずれか)	□外壁通気構法		
	□GL 1 mの範囲	柱： □薬剤処理 □小径 12 cm以上 □耐久性区分D1 のいずれか	
		柱以外の軸組材： □薬剤処理 □耐久性区分D1 のいずれか	
合板：□薬剤処理			
土台の防蟻・防蟻対策	□土台に接する外壁下部に水切設置		
	□薬剤処理 (K 3以上) □耐久性区分D1 のいずれか		
浴室・脱衣室の防水	□防水上有効な仕上げ		
	□ユニットバス設置		
基礎内周部(床下地面)の 防蟻	□ベタ基礎採用		
	□布基礎と鉄筋により一体となった土間コンクリート		
	□地盤の薬剤処理		
床下防湿 (右記のいずれか)	□ベタ基礎		
	□60 mm以上の防湿コンクリートを打設		
	□厚さ 0.1 mm以上の防湿フィルムを敷詰める		
床下換気 (右記のいずれか)	□基礎断熱工法等		
	□有効面積：300 cm ² 以上、間隔：4 m以内		
	□ねこ土台：1 m当たり 75 cm ² 以上		
小屋裏換気 (右記のいずれか)	□屋根断熱工法		
	□独立した小屋裏ごとに2か所以上の換気孔の設置		
	換気孔有効面積 (右記のいずれか)	□小屋裏の壁(妻壁)に2以上の換気孔を設置	1/300 以上
		□軒裏に2以上の換気孔を設置	1/250 以上
		□軒裏又は小屋裏の壁に給気孔を設置し、かつ小屋裏の壁に排気孔を垂直距離90cm以上離して設置	吸気孔及び排気孔 1/900 以上
		□軒裏又は小屋裏の壁に給気孔を設置し、かつ排気筒その他の器具を用いた排気孔を設置(排気孔は小屋裏頂部に設置)	吸気孔 1/900 以上 排気孔 1/1600 以上
□軒裏又は小屋裏の壁に給気孔を設置し、かつ棟部に排気孔を設置		吸気孔 1/900 以上 排気孔 1/1600 以上	

以上

品質管理チェックシート <<RC造・SRC造>>

まもりすまい保険設計施工基準に加え、以下に適合する設計・施工をしていただくことで、『すまいネット住宅』設計施工基準に適合します。

※本申請書は「まもりすまい保険」申込設計図書に優先するものとして取扱います。

作成日	20 年 月 日	申請担当者 氏名	印
申請物件名			

※申請物件で採用される仕様の該当する□にチェックを入れ、ご提出願います。

1.コンクリートの品質等

部 位	仕 様
使用するセメント (右記のいずれか)	<input type="checkbox"/> ポルトランドセメント (日本工業規格 R5210)
	<input type="checkbox"/> フライアッシュセメント (日本工業規格 R5213)
	<input type="checkbox"/> 高炉セメント (日本工業規格 R5211)
コンクリートのスランプ (右記のいずれか)	<input type="checkbox"/> コンクリート強度が 33N/mm ² 未満：18cm 以下
	<input type="checkbox"/> コンクリート強度が 33N/mm ² 以上：21cm 以下
コンクリートの単位水量	<input type="checkbox"/> 185kg/m ³ 以下
コンクリート中の空気量	<input type="checkbox"/> 4%～6% (※日最低気温の平滑平均値の年間極値が 0℃を下回る地域の場合)

以上

品質管理チェックシート

《S造》

まもりすまい保険設計施工基準に加え、以下に適合する設計・施工をしていただくことで、『すまいネット住宅』設計施工基準に適合します。

※本申請書は「まもりすまい保険」申込設計図書に優先するものとして取扱います。

作成日	20 年 月 日	申請担当者 氏名	印
申請物件名			

※今回の申請物件で採用される仕様の該当する□にチェックを入れ、ご提出願います。

1.床下防湿

部 位	仕 様
床下地面 (右記のいずれか)	<input type="checkbox"/> べた基礎
	<input type="checkbox"/> 厚さ 6 cm以上のコンクリートを打設
	<input type="checkbox"/> 厚さ 0.1 mm以上の防湿フィルムを敷き詰める。

2.床下換気 (床下に空間が生じる場合)

部 位	仕 様
外周部 (右記のいずれか)	<input type="checkbox"/> 基礎断熱工法
	<input type="checkbox"/> 有効面積：300 cm ² 以上、間隔：4m以内
	<input type="checkbox"/> ねこ土台：1 m当たり 75 cm ² 以上

3.小屋裏換気 (小屋裏空間が生じない場合を除く)

小屋裏換気 (右記のいずれか)	<input type="checkbox"/> 屋根断熱工法		
	<input type="checkbox"/> 独立した小屋裏ごとに2か所以上の換気孔の設置		
	換気孔有効面積 (右記のいずれか)	<input type="checkbox"/> 小屋裏の壁（妻壁）に2以上の換気孔を設置	1/300 以上
		<input type="checkbox"/> 軒裏に2以上の換気孔を設置	1/250 以上
		<input type="checkbox"/> 軒裏又は小屋裏の壁に給気孔を設置し、かつ小屋裏の壁に排気孔を垂直距離90cm以上離して設置	吸気孔及び排気孔 1/900 以上
		<input type="checkbox"/> 軒裏又は小屋裏の壁に給気孔を設置し、かつ排気筒その他の器具を用いた排気孔を設置（排気孔は小屋裏頂部に設ける）	吸気孔 1/900 以上 排気孔 1/1600 以上
<input type="checkbox"/> 軒裏又は小屋裏の壁に給気孔を設置し、かつ棟部に排気孔を設置		吸気孔 1/900 以上 排気孔 1/1600 以上	

以上